

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第1回 白岡市総合教育会議	
開催日	令和5年3月9日（木）	
開催時間	午後1時30分から3時35分まで	
開催場所	白岡市役所 4階 会議室404	
出席者 （出席構成員）の 職・氏名等	白岡市長 藤井栄一郎 白岡市教育長 横松伸二 白岡市教育長職務代理者 新井二郎 白岡市教育委員 山崎美佐江 白岡市教育委員 和田玲子 （計：5人）	
欠席者 （欠席構成員）の 職・氏名等	白岡市教育委員 小野目如快	
事務局職員の 職・氏名	【市長部局】 副市長 椎木隆夫 総合政策部長 相川哲樹 参事兼企画政策課長 神田正 企画政策課 課長補佐 内田英俊 企画政策課 主査 野本有慈 （計：5人）	【教育委員会】 学校教育部長 阿部千鶴子 生涯学習部長兼学び支援課長 安野弘之 参事兼教育指導課長 小林大輔 教育総務課長 岡安久美子 いきいき教育課長 大久保秀樹 教育総務課 主幹 長島紀彦 教育総務課 主査 山田真規子 （計：7人）
その他会議 出席者	傍聴2名	
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 白岡市教育行政の課題と提案について 4 その他 5 閉 会	
配布資料	会議次第	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
相川部長 (総合政策部)	1 開会 相川総合政策部長の進行により会議が開会した。
藤井市長	2 挨拶 藤井市長から挨拶が行われた。
相川部長 (総合政策部)	議事の進行について、椎木副市長とすることについて意見を伺った。 (椎木副市長が進行役となることに意見等なし。) 以下、椎木副市長による進行で行った。
椎木副市長	3 議事 白岡市教育行政の課題と提案について 本日の議事は、それぞれ構成員の方のお考えを伺い、それに対する御意見や御質問があれば、御発言をいただき、また、次の方にお考えを伺っていく流れとさせていただきますと思います。それでは、初めに藤井市長、お願いします。
藤井市長	私は、常日頃から、子ども達のためにどうするべきか、どうあるべきか、ということ念頭に置いて、いろいろな対策を考えていきたいと思っています。白岡市は、今動き始めていると考えています。そのような中でいろいろな政策を実行していく中で、可能であれば「子育てするなら白岡市」と言われるように市長として全力を尽くす覚悟でいます。白岡市は、学力も高いと言われておりますので、さらに教育の充実を図り、子ども達の健全な育成に取り組んでいきたいと思っています。教育の課題は様々なものがあり、全てをこの場でお話できませんので、本日は、4点のお話をさせていただければと思います。まず、1点目ですが、子育て支援と幼児教育の充実ということが挙げられるかと思えます。私は、自己肯定感を醸成できることが重要かと思えます。今、あるがままの自分を受け入れること、価値ある存在であると思えることができるような教育を理想として、そういったものを子どもたちに根付かせていきたい、また、そのような教育環境を整えていければと思っているところです。生まれてから小学校に入学する前までの幼児教育は非常に大切です。幼児期に育みたい資質能力は、学ぼうとする力、知識技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成などだと思っています。そして、親が安心して子育てをする環境を整えることが重要です。子育てのための親子教室や、親同士が交流できるような事業を活発化させて、親の子育ての不安を解消できればと思います。2点目は、小中学校

	<p>教育の充実です。子どもたちが真剣に勉強して、楽しく学ぶことができる学校にしていきたいと思っています。学校施設も老朽化が進んでいます。白岡市は、小学校6校、中学校4校ありますが、例えばこれらを統合して、3つ程度として、義務教育学校とするということも、教育長と話題にしております。子ども達にとって、何が1番良いかということを考えること、これは私達大人にとって大切であり、また、そういった意味で責任もあるかと思っています。小中学校の教育の充実の中では、いわゆる、小1プロブレムや中1ギャップを起こさせないカリキュラムの構成や発達段階に応じたきめ細かな教育環境が必要だと思っています。3点目は、学校間連携です。教育委員会でも行っていますが、さらに進めていかななくてはならないと思っています。生まれてから、自立するまでを豊かな環境の中で育てていくことが重要だと思っています。幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校までを一連の教育の場として、全てを一体的に教育することが理想ですが、まずは、連携することから進めていきたいと思っています。4点目は、生涯学習の推進です。教育は、子ども達のためだけにあるものではないと思っています。生涯にわたっての教育が豊かな暮らしをしていくために糧になるとも思っています。生涯学習の充実には、市民が豊かな生活を送るために欠かせないことです。手軽にスポーツを楽しむ、また、真剣に研究や学習をしたいときに、応えられるような環境を整えばよいと思っています。白岡市には、他市に比べて見劣りをしない運動施設もごございます。図書館や生涯学習センターも充実していますので、これらを活用して、大人が生涯学習を続けられるような仕掛けをしていきたいと思っています。これ以外にも、ICT教育の推進、コミュニティスクールの推進、PTA活動の推進、教員の働き方改革、いじめや不登校、児童虐待、ヤングケアラーなど様々な問題があります。これら1つ1つに対しまして、教育委員の皆様とともに、丁寧に進めていきたいと思っています。理想も含めてのお話をさせていただきましたが、市民の皆さんの御意見を伺いながら、今後進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>椎木副市長</p>	<p>説明が終了しましたので、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
<p>B委員</p>	<p>義務教育学校について、現時点でどのような問題点を考えていますか。</p>
<p>藤井市長</p>	<p>大山地域、菁莪地域の人口減少が課題であると考えています。また、学校施設の老朽化、また、老朽化に伴う建て替えなども課題であると考えています。</p>
<p>B委員</p>	<p>小学校では、1人の教員が複数の科目を教えています、児童の理解度の把握など、負担が多いため、この点も働き方改革につながっていくと思ひます。</p>

A委員	<p>教育について、関心を持って、充実させていこうという気概を感じています。学校教育の充実にあたっては、学校へ出向いて授業や子どもの様子を見ないと課題が見えてこない部分もあります。具体的な対策の道筋を立てる前に実態を確かめる方法を考えておくのとよいのではないかと思います。</p>
藤井市長	<p>現状として、各学校を見に行けていない状況もあります。学校の教員については、教育委員会にお任せしていますが、総合的な教育の問題については、教育委員の皆様から御意見をいただくことができればと思います。</p>
A委員	<p>指導主事の会議や校長会などで、市長の考えや方向性を伝えていくことも必要であると思います。時間が掛かることであるとは思いますが、気持ちを現場に知らせていくとよいと思います。</p>
藤井市長	<p>教育長とは頻繁に意思の疎通を図っているところです。私としては、風通しの良い職場を心掛けています。教育委員の皆様とも、積極的に意見交換をさせていただければと思います。</p>
C委員	<p>理想が実現につながっていけばよいと思います。子育てするなら白岡市とさせていただき入口として、幼児教育が大切であると思います。幼児教育は、市の独自性、オリジナリティが出せると考えています。自己肯定感を育むためには、家庭教育が重要だと思います。親として、子育てを学んでいく必要があります。子育て支援というと、保育所などの環境の話になってしまいますが、豊かな教育、充実した子育て支援は、精神的な部分をどのようにバックアップするかが大切であり、親の居場所づくりなどが求められています。児童館においても、何かの教室に行かなくても、先生と話すだけでも変わってくる部分もあるかと思います。3歳から4歳くらいの間に親が余裕を持って、子どもを愛することが重要だと思います。</p>
藤井市長	<p>3歳から4歳くらいの家庭教育は、重要だと感じています。また、子育ての環境については、今のニーズに対応して、保育施設などの受け皿を作っていく方向に進んでいる状況です。保育所の待機児童は、2年前で17人、1年前で19人です。今年度は、病児保育と一時保育も実施する90名規模の民間保育所設置の話を進めています。</p>
C委員	<p>子どもを育てるためには、周囲にいる大人が豊かな愛情をかけることが大切だと思います。市として、何か具現化できるものがあるとよいと考えます。</p>
B委員	<p>子どもと親の接する時間が短くなっていると感じています。そのような中、</p>

	<p>子どもに対して、何かをしてあげるということではなく、隣に座ってあげるだけでもよいかと思います。また、大きいことではなく、本や音楽の感動を共有するなどにより、自己肯定感が育まれる機会が増えるとよいかと思います。</p>
<p>椎木副市長</p>	<p>続きまして、白岡市教育行政の課題と提案について、横松教育長からお願いします。</p>
<p>横松教育長</p>	<p>教育長に就任した際に市長から、子ども達のために何かできないかと常に考えていると話がありましたが、本日の説明を聞いて、改めて身の引き締まる思いです。今、社会全体が変わっていているため、学校教育の中でも、日高市や志木市で義務教育学校とする報道がありました。時代に合わせていくため、学校の体制についても、フレキシブルに対応していく必要があると思います。義務教育学校を考えた場合、白岡市は小中学校の敷地も広いため、施設分離型より、施設一体型が望ましいと思っています。教育長就任後、約6か月が経過しましたが、教育の課題解決のために必要なものは、人であると感じています。特に、教員の資質を引き上げることが大切であると感じています。研修やピアリングなどを充実させていくことが必要であると思っています。</p>
<p>椎木副市長</p>	<p>説明が終了しましたので、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
<p>B委員</p>	<p>学校教育で、勉強や科目を好きになるためには、教員の影響が大きいと思います。ICTに頼り過ぎないことが大切で、教員の質を着実に引き上げる必要があると思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>義務教育学校については、大山地域や菁莪地域の人口減少、施設の老朽化、西小学校の教室不足などの問題点を解決に導く力のある提案だと感じました。この内容については、ここで終わるのでなく、将来を見据えて、継続的に話合いのテーブルに載せていくことが大切であると思います。また、人を育てるということは、それまでの経験が大切だと思います。教員における現在の研修は、少ないと感じています。自動車教習所の単位取得のような、教員の研修プログラムが必要ではないかと思っています。</p>
<p>椎木副市長</p>	<p>続きまして、白岡市教育行政の課題と提案について、A委員からお願いします。</p>
<p>A委員</p>	<p>白岡市の生涯学習を考えますと、実のある講座を開いており、自分が技術を身に付けた場合、他の人に伝えないことはもったいないと感じています。1つの勉強から次に広がっていく、発展性のあることが大切であると思います。配</p>

	<p>慮や働きかけが必要ですが、高齢者や障がい者が気楽に参加できるような講座もあればよいと思います。また、成人式の整然とした様子から、多少なりとも小中学校の教育が浸透していると感じました。学校教育について、視察の際に感じることは、各学校が特色のある教育を推進しようと努力をしていることです。学校ごとの特色も大切ですが、例えば、体力づくりの一環として、市内全体で週に1回は剣道の素振りをするなど、白岡市として統一した取組があってもよいと思います。</p>
椎木副市長	<p>説明が終了しましたので、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
B委員	<p>生涯学習について、全12回の手話の導入講座を受けたことがあります。応用や発展の段階の講座が加われば、習得できたことを生かせる機会が増えてくると思います。講座を受けたことで終わってしまうのではなく、次につなげていくシステムがあれば、市民全体の素養が上がってくるのではないかと思います。</p>
A委員	<p>技術を発展させていくことも大切ですが、講座などを通じて、市全体の和やかな雰囲気が生まれてくる場面が増えてくればよいと思います。</p>
C委員	<p>これまでにたくさんの講座を参加させていただきましたが、その講座からサークルが出来上がり、新しい友人と出会うという流れがありました。これが結果として、白岡市に対して愛着が湧いてくるとともに、生活が定着してくるものと思います。また、知り合いの教員の方が白岡市の児童がしっかりと着席し、授業を受ける姿を褒めていたことがあります。これは、当たり前のことではなく、これまでの教育によるものだと思います。白岡市として統一した取組について、浦和であればサッカー、長野であればスキーなど、共通の体験としてスポーツというのはよいものだと思います。</p>
A委員	<p>学校教育の中で新たに時間を生み出すことは難しいかと思いますが、白岡市といたら何々といった、特色のあるものに取り組めたらよいと思います。</p>
藤井市長	<p>20年程前に白岡市の生涯学習講座に関わりましたが、その中には今でもつながっているという人も聞いています。コロナ禍が落ち着いてきたら、そのような講座が増えてくればよいと思います。</p>
椎木副市長	<p>続きまして、白岡市教育行政の課題と提案について、B委員からお願いします。</p>

B委員	白岡市は、何もないと言われることがありますが、この環境であるからこそ育っているものもあると思います。不特定多数の地域から、たくさんの方が押し寄せてくるような環境であった場合の子ども達と現在の子供達では、異なる部分はあると思います。今の状況を幸せだと思った上で、この環境を存分に生かした教育が大切だと思います。また、教員の方に対しては、勉強する時間が取れないのではないかと感じています。教員自身にゆとりが生まれれば、効率のよさが生まれると思いますので、研修日を設けるなどして、教材研究をしてほしいと思います。
椎木副市長	説明が終了しましたので、御意見・御質問がありましたらお願いします。
C委員	働き方改革も進んでくると、教員の勉強時間がとれてくるかと思しますので、教えるという狭い世界の中だけよりも、教員としての魅力を持つことができるとよいかと思ひます。
A委員	現場の教員は、忙しく、児童・生徒に一日、一回の声掛けすらできない状況もあるかと思ひます。これは、提出物の多さやこれまで家庭教育で担ってきた部分が学校教育に入ってきていることによるものと感じています。教員にゆとりが生まれ、子ども達に接する時間が増えくればよいかと思ひます。
藤井市長	配布物を紙で実施している部分のデジタル化を推進するなど、教員の働き方改革を進める必要があると思ひます。
横松教育長	最近の教員は、読書量が落ちているという話を聞いていますが、教材研究以外の勉強も大切だと思ひます。
B委員	教える側の方は、心の中に哲学がないといけないかと思ひます。本を読むなどして、成長してほしいと思ひます。
椎木副市長	続きまして、白岡市教育行政の課題と提案について、C委員からお願いします。
C委員	幼児教育が大切だと思ひます。本の読み聞かせと音楽が手軽で、誰でもできる教育のツールだと思ひています。白岡市では、図書館が新設され、環境が整っています。学校の図書室も従前は、基本的に鍵がかかっていましたが、現在は図書支援員の制度が始まり、改善されています。理想としては、各学校に司書の方がいるような環境が望ましいと思ひます。また、ブックスタートの取組により、家庭でも本を読むきっかけになったかと思ひます。幼稚園でバスに乗る

	<p>までの間などの待ち時間に音楽を耳にすることができ、本を手にとれる環境があったらよいと思います。</p>
椎木副市長	<p>説明が終了しましたので、御意見・御質問がありましたらお願いします。</p>
B委員	<p>本と音楽は、子どもに限らずに大切かと思います。また、学童保育でも、居心地のよさが大切ですので、音楽を流すなどして、子どもの心が少しでも休まればよいと思います。</p>
A委員	<p>若い母親が安心して、自信をもって子育てができる環境があればよいと思いますので、そのような方向性の施策を考えてほしいと思います。</p>
藤井市長	<p>市役所でも昼に音楽を流す機会などがあってもよいかと思います。また、市を好きになってもらうことも大切であり、市の良い部分を口に出すなど、ポジティブに考えていくことができればと思います。</p>
C委員	<p>白岡東小学校で日本一の小学校とスローガンを掲げていましたが、言い続けることで意識が変わっていくこともあるかと思いますので、ポジティブな言葉は大切だと思います。</p>
椎木副市長	<p>白岡市教育行政の課題と提案について、構成員の皆様の説明が終了しました。最後に全体として、藤井市長に感想をお願いします。</p>
藤井市長	<p>本日は、貴重な御意見をありがとうございました。御意見につきましては、今後の教育政策、まちづくりに生かしてまいりたいと思います。また、今後も忌憚のない御助言、御意見をお願いいたします。</p>
椎木副市長	<p>本日は、活発な意見交換をありがとうございました。以上で、本日の議事は終了とさせていただきます。</p>
	<p>4 その他</p>
神田 参事兼課長 (企画政策課)	<p>次回の会議の開催について、現時点では未定でございますが、詳細が決まり次第、改めて、御案内しますので、よろしくお願ひしたいと存じます。</p> <p>なお、児童・生徒の安全を確保する必要が生じたときなど、緊急を要する事案が発生した場合には、随時、この総合教育会議を開催し、対応を図ってまいりたいと存じますので、あらかじめ御承知おきくださるようお願いいたします。</p>

<p>相川部長 (総合政策部)</p>	<p>5 閉会 相川総合政策部長の閉会宣言により終了した。</p>
-------------------------	--

令和4年度 第1回 白岡市総合教育会議

次 第

日 時 令和5年3月9日（木）

午後1時30分

場 所 白岡市役所 4階 会議室404

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

白岡市教育行政の課題と提案について

4 その他

5 閉 会